

笑門来福



延岡市立東小 学校だより No.2

令和7年5月26日（月）

児童と保護者のみなさん、地域の方々と 身近なこととして、一緒に取り組みたいこと

本校ではこれまで、児童と大切にしたい取組として、4つの「あ」の視点のもと活動してきました。「あいさつ」「安全な廊下歩行」「あったか言葉」「後片付け」です。本年度は、この4つの視点に「ありがとう」を加えて、5つの「あ」の視点で教育活動を展開していきたいと考えております。

学校における不登校やいじめ、その他生徒指導の様々な問題を改善するためにも、子どもたちの日常において、児童が「安心」した気持ちで過ごすことが最も大切であると感じています。そこで令和7年度から「東っ子 安心のための5つの『あ』」として、1つ1つの視点を意識しながら児童と共に取り組んでまいります。

保護者、地域の皆様もご協力をいただくこともあるかと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

※ 後の人のことを考えた行動（後片付け、トイレのスリッパ等）



朝の集団登校の様子

朝の登校時間には、校長として東小そばの地下道の出入り口付近で交通指導を行っております。

毎日、保護者や地域の方々が登校班の列に付き添ってくださっています。また、各交差点に立っていただいている交通指導員の方々も大変心強くとても安心感があり感謝の気持ちでいっぱいです。

そのような中、地下道付近の歩道は比較的広いのですが、小学生とすぐ横を通過する自転車の距離が近く、ぶつかりそうな場面や高校生が小学生を避け車道側へ出る危険な場面にも何度も遭遇しました。この区間は「自転車歩道通行可」の歩道のため、小学生も自転車もお互いに気をつける必要があります。

そのため、特に後ろから来る自転車には気づきにくいので子どもたちには「自分の命は自分で守る」意味でも、黄色い点字ブロックからはみ出さないように1列になって歩くことをお願いしているところです。

先日、毎日子どもたちに付き添ってくださる保護者の方から「最近子どもたちが1列で歩き黄色い線を守っていて、すごいですね。」という嬉しいお言葉をいただきました。

本校の生徒指導主事やその他の教職員も児童の安心・安全のための指導に全力を注いでおります。今後とも、皆様のご協力に感謝しつつ学校としても引き続き指導を行ってまいります。



